



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2022～2023 年度 高山中央 RC 会長テーマ

イマジン ⇒ アクション ～止まった時間を動かそう！～



◆会長 中田 学 ◆幹事 二木 公太郎 ◆会報委員長 西 美紀 ◆会報担当 大保木 正博

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席数	Make-up	出席率
本日 1320 回	56 名	56 名	44 名	——	78.57%
前々回 1318 回	56 名	56 名	40 名	2 名	75.00%

- 点鐘
- ロータリーソング
- 会長挨拶

こんにちは！

会長の時間です。

昨日、「はぐるま会」が高山カントリーで開催されました。雪で午前中はクローズとなりましたが、午後からの開催だったので、無事にプレーができ、しかも晴天で、ゴルフ場の満開の桜を見ながら、お花見気分でも、楽しく過ごすことができました。島会長が優勝されました。おめでとうございます。

今、テレビでは、高山の「雪と桜の競演」が話題になっていますが、市内、先週水曜日に、桜が満開となりました。これは、昨年より 10 日も早いそうです。いつもなら、桜と「春の高山祭」と重なって、絵になる風景を見せてくれますが、今年は、桜がかなり先になりましたが、今週末、いよいよ「春の高山祭」です。ようやくコロナも落ち着いて、今年は、例年通りのフルバージョンのスケジュールのようです。桜の開花と春の高山祭、この 2 つ、特に、この春祭りを境に、寒くて厳しかった冬が終わり、春の始まり・訪れを感じることができ、晴れやかな気分になります。週末の高山祭も、きっと大いに盛り上がると思います。十分、楽しませていただきます。先日、この 4 月 3 日に開催された、宮の水無神社の「生き雛祭り」について、宮司さんとお話しする機会があって、平日の月曜日にもかかわらず、待ちわびていたかのように、多くの方々が訪れ、盛況のうちに終えることができ、まさに平時に戻って、良かったと言っておられました。

ただ、コロナ禍で、行列は 4 年ぶりだそうで、やは

会長 中田 学
奉仕の理想
会長 中田 学



り、準備など、いろいろな段取りや勝手を忘れて、本当に大変だったそうです。コロナで止まっていた時間の弊害は、至る所に広がっていると思いました。

クラブにも春祭りのご関係の方々も多いと思いますが、準備から片付けまで、これまで以上に、ご苦労も多く、たいへんですが、二木幹事におかれましても、私たちの楽しみのために頑張ってください。先週は、岐阜県議会議員の選挙がありました。高山地区では、メンバーの高殿さんが 4 期目再選されました。おめでとうございます。様々な社会課題について、私たちが、考え、行動していくためには、行政との連携が不可欠だと思います。高殿さんのような仲間がクラブにいていただけることは、たいへん心強いと思っています。今後のご活躍を期待しておりますし、助言・指導をよろしくお願い致します。

さて、本日の例会は、研修委員会、田中委員長にご担当いただきます。「IDM報告」ということになっていますが、実は、都合上、IDMは、今夜の開催となりました。少し内容をアレンジした例会となりますので、どうぞよろしくお願い致します。

最後になりますが、コロナは、だいぶ落ち着きましたが、今、個人的に、花粉症の症状がでていて、薬を飲んでいますが、「花粉症は、大きな社会問題である」と岸田総理が、国会で発言されました。花粉症、国会で議論することなの？という意見もありますが、症状が出ている者にすれば、やはり大きい問題です。公害だという人もいます。今後、薬や診療などの医療分野での様々なサポートもですが、戦後に植林された杉・ヒノキが花粉を飛ばしまくっていますが、海外の木材のほうがかんたんといいことで放置されて、伐採作業に従事する人たちの仕事が減っていった、新規の就労者はなかなか見当たらず、どんどん高齢化しているといった、産業分野での課題に取り組んでいただくことを期待し

ているところです。しばらくは、この花粉症を含め、このところの昼夜の寒暖差などに注意して、体調管理にお努めいただくことをお願いして、会長の時間とします。
ありがとうございました。

● 幹事報告 幹事 二木 公太郎

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より
・米山梅吉記念館より
賛助会入会のお願い

○濃飛グループガバナー補佐より

・最終ガバナー補佐訪問について
5月29日(月)



<飛騨高山国際協会より>

・通常総会のご案内
日時：4月20日(木) 9:00~10:00
場所：高山市役所4階会議室

● 研修委員会 委員長 田中 雅昭

皆さんこんにちは。本来なら新会員さんによる IDM を実施し、お二人に IDM 報告を行って頂くのですが、日程の都合で今夜 IDM を行いますので、本日は角竹さんと田中さんには、自己紹介を兼ねて入会間もないですが、それぞれの思いを述べて頂きたいと思っております。……ありがとうございます。

さて研修委員会としての役割は

1. クラブ内研修の年間計画を立案し、活動計画書に明記する。
2. 比較的入会年次が浅い会員、特に新会員に対する研修を実施する。
3. 支援とアイデアを得る為に、地区研修委員会が主催するセミナーに参加する。
4. IDMなどで、親睦を深めながら研修の機会を作る。

本来のロータリーの魅力を少しでも伝え、「ロータリークラブの会員」から「ロータリアン」にしているかと言われている。そこでお配りした「高山中央ロータリークラブ会員満足度アンケート」により今後の研修委員会の活動はもとより、当クラブが魅力あるクラブへと発展し、理想のクラブづくりを目指す為の資料として活用していきたいと思っておりますのでご協力の程、宜しくお願い致します。



● 新入会員スピーチ

角竹 正至

皆様こんにちは。新会員の角竹正至と申します。馬場町の料亭角正にて 12 代目主人として商いをさせていただいております。この度は高山中央ロータリークラブに入会させていただき、感謝を申し上げます。



父がまだまだ元気で高山ロータリークラブにて活動させていただいておりますので、まさか親子でロータリアンなんて夢にも思いませんでしたが、縁あって入会をさせていただきました。右も左もわからない状態ではありますが、どうぞご指導お願いいたします。

また、この三年間、コロナ禍で私どもの業界は大変ではございましたが、中央ロータリーメンバーの皆様には、たくさんのご利用、ご支援を頂きまして有難うございました。おかげさまで何とか乗り切ることが出来そうですので、引き続きましてのご利用をお願いいたします。

さて、新入会員スピーチということで、何を話せばいいのか考えましたが、仕事人間の僕には引き出しが少なく、大した話もできませんので、修行時代の話をさせて頂こうと思っております。

私は、東京の大学に進学を卒業後、京都にて修行いたしました。

修行先は南禅寺「瓢亭」という料亭でございまして、我々の業界では日本一ともいわれるまさに泣く子も黙る料亭です。皆様の中にも行かれたことがある方がおられるかとは思いますが、創業約 350 年、現在 16 代目と、とてつもない歴史を誇る料亭で、当時、日本一厳しい修行先といわれていました。幼いころから家業である角正を継ぐしか選択肢が無かった私ですので、大学での勉強も意味を感じず、ただただ夜遊びとアルバイトに明け暮れておりました。当然就職活動もせず、親が決めた修行先に嫌々進むといった感じでした。

大学 4 年生の夏休み、両親に連れられて瓢亭へご挨拶伺いました。帰り際に女将さんから言われた

「楽しいとこじゃおまへんけど、せいぜいおきばりやっしゃ。」

の一言が、恐怖以外の何物でもなかったのを今も忘れもしません。

大学を卒業し、新年度 4 月 1 日より修行に入りましたが、前日の 3 月 31 日の午後、いよいよ社員寮に入寮いたしました。寮といってもマンションの一室 12 畳間に二段ベッドが 4 つとテーブルが一つ押し込んであるだけの部屋でしたので、プライベート空間は自分のベッドの上だけという生活で

した。入寮してすぐに最初の洗礼を受けました。それぞれ赤と黄色のバットを持った、バリバリのリーゼントの尼崎と広島出身の二人の先輩が寮の別の部屋からやってきて、「おーお前どこのファンや?」と。巨人ファンだった私でしたが、これはまづいなと直観で、「東海地方です。中日ファンです。」と答えました。嘘も方便、直観は当たり、その後の風当たりは比較的穏やかなものとなりましたが、巨人ファンと答えた同僚はかなり肩身の狭い思いをしていたようです。

こうして始まった修行生活。

通常営業でも朝は7時前から夜は11時ころまで働き、時には徹夜となることもありました。

絵にかいたような年功序列の封建社会で、調理場は戦場だといわれますが、私にとってはまさにいろいろな意味で地獄でした。

当時の料理人は血の気の多い人が多い時代。洗い物をしていても、熱々の鍋や備長炭で熱くなった鉄器等が勢いよく飛び交い、鍋が後輩たちの手に当たってから「熱いよ〜」と。おかげさまでいまだに私の腕にはそのころにできたやけどの跡が随所に残っております。遙か年下の先輩に怒られるのも辛い経験でした。

お気楽で遊んでばかりの大学生活から、厳しい修行生活へと一変し、最初の半年間は嫌で嫌でしょうがなく、ただただ言われたことをこなすだけの日々を過ごしました。

私のように料亭の息子は預かりっこと言われ、修行任期が三年と決まっておりましたので、三年は長いけど我慢してなんとなく過ごせばいいやー。角正に帰れば楽な日々が待っているだろう、と考えていました。

しかし、半年を過ぎたある日私に転機が訪れました。

日本料理界の頂点、私たち料理人にとってまさに雲上人で、言葉を交わすだけでも緊張してしまう、師匠である瓢亭の社長が

「角竹君ちょっといいか〜」

と声をかけてくださり、社長室へ呼ばれました。何を注意されるのだろうと緊張しながら部屋に入ると、前日に講演会の講師の仕事で岐阜へ行かれたと。ついでにわざわざ足を延ばして角正でお食事をされたということで、

「昨日角正さんに行って来てん。美味しかったで〜。あの料理はどうやって作るんや? 相変わらず庭がきれいやったな〜。角竹君帰ったら大変やと思うけど、しっかりと守りや〜。」と。

なぜかその一言でお尻に火が付きました。その瞬間、長くて辛いと思っていた三年が、三年しかないという焦りに変わりました。暇を見ては料理の練習、暇を見ては食べ歩き。休日も出勤して先輩から色々教えていただきました。

そのかいもあってか、徐々に認められるようになり、重要な仕事も任せていただけるようになってきました。

お店での仕事はもちろんですが、北は東北、南は中国地方まで各地の名士のお宅へ出張料理今でいうケータリングをさせていただいたり、住友財閥や野村財閥の邸宅に仕出しに伺ったり、京都御所で天皇陛下のお膳を調製させて頂いたり、大徳寺へお茶事の仕事を任せてもらったり。

通常、2年目や3年目ではさせていただけないような仕事を任され、とても貴重な経験をさせていただきました。

そんな経験をさせていただいたおかげで、家業を継いだ今でもお店での仕事はもちろん、県内外へのケータリングなどもさせていただくことが出来るようになりました。

半田のミツカン酢さんへ出向いての仕出しや、東京や岐阜でのお茶会の茶懐石のお仕事などなど、遠方へも出向かせていただく機会もあります。ここにおられる中央ロータリーの大先輩からもご依頼を頂き、別荘にてケータリングをさせていただいたこともあります。

また、その時の経験のおかげで、コロナ禍においてもテイクアウトや全国からのお取り寄せにも対応させていただくことが出来、何とか耐え忍ぶことが出来たのだと思っています。

師匠を始め、地元高山、全国、全世界のお客様にお支えいただき220年もの長きにわたり同じ地で同じ商売をさせていただけることに感謝し、精進してまいりますので、今後ともご支援、ご利用をお願いいたします。

田中 由泰

私は、田中由泰と申します。昭和45年生まれ現在52歳で、今年で53歳になります。そして現在進行形で独身であります。

まずは、高名な高山中央ロータリークラブに入会を認めていただき、誠にありがとうございます。

私は、八軒町で田中酒店という屋号にて酒類小売業を営んでおります。酒類事業としては祖父の代に創業し、私で三代目にあたります。主に高山市の業務店さんむけに酒類の小売卸をさせていただいております。あわせて昨年末まで20年間ファミリーマート高山桐生店を運営させていただいておりました。こちらは、契約期間満了をもって円満に店長さんに店舗の引継ぎをさせていただきました。

別に、父が創業した陣屋商会という会社にて、「甚五郎らーめん」という屋号にて飲食店ならびに元祖お持ちかえりらーめんの製造販売をおこなっております。20年ほど前より当時のお取引先であ



った白頭山という焼き肉屋さんがお店をおやめになる際に、製造していた「白頭山焼き肉のたれ」という商品を引き継ぐ形で併せて製造販売を行っております。

私には、姉、弟の兄弟がおりまして、会社は、田中酒店のほうは私が社長、弟が専務、陣屋商会は弟が社長、私が専務という形で、姉がそれぞれ役員という形で事業を分担しております。

さて、私についての自己紹介ですが、まずは経歴よりご紹介させていただきます。

私は高山幼稚園、南小学校、松倉中学校、斐太高校、関西大学を卒業後、司法浪人を2年ほど大阪の地でした後、平成7年に高山へ帰ってきました。高山へ帰ってきた当初は、陣屋商会にて当時にまだあった原山ゴルフ練習所の事業の廃止にむけての調整や、麺の内製化に向けた製麺機器の導入、お持ちかえりらーめんの通販作業、お取引先のスーパーへの営業配送、各種催事への出店などを担当していました。父が平成9年に亡くなったのを機に、弟と業務担当を入れ替え、それ以降私は田中酒店をメインに事業をさせていただいております。

さて、近年の思いれにあった仕事についてお話させていただきます。先ほど、お話にて、原山ゴルフ練習場ですが、父が昭和40年前半に原山の地に創業した、高山で最初のゴルフ練習場です。当時は自然豊かな場所で近隣に製紙会社の工場があり子供時代には、近所の沢でのサワガニ取りやカブトムシ取りなどで遊んだ思い出の地でもあります。ただ、バブル崩壊後のゴルフ人口の減少や施設の老朽化もあり、事業を廃止する決断をいたしました。土地の名義も親戚でわかれており、一括し売却を前提として、鉄柱の撤去や隣地との境界面定などを行いました。ただ、土地の売却については、広大かつ斜面地であることから、難航しまして一度売却をあきらめ、山林に戻す形で植林などをさせていただきました。その後、再生エネルギー振興政策や併せて、真光様の神殿建築のための土砂の受け入れという形で、練習場跡地について、造成したうえで、太陽光発電所の建設に取り組みました。まず親戚で分けていた土地の名義について、田中酒店が購入する形で一本化させていただきました。遠方の親戚への連絡から売却依頼などを行いました。協力的に話はまとまりましたが、一人名義人の死亡により相続手続き終了してなかった事例もあり、なかなか骨のおれる作業でした。

あわせて、3300坪という広大地の造成ということで、近隣の方々への説明会にむくなど、慣れないことでしたので緊張しました。ただ、原山ゴルフ練習場として古くから事業も営んで、町内についても雪の捨て場としての供与や、町内協力金などで協力させていただいたこともあって、無事造成についてご納得いただきました。ふだんからの

つきあいというものが、いかに大事かと再認識させていただきました。

土地の開発許可と並行して、事業資金の調達などもおこないました。1億4000万円の借入計画したのですが、太陽光発電の事業について、事業計画書を作成し、銀行さんと協議させていただきました。タイミングがいいことに銀行側も太陽光発電についてのリスクなどについて、ちょうど理解を深めていたこともあり、なにより、とりまとめした土地と私たち兄弟の首を担保として差し出したことにより、スムーズに、借入できました。

こうしてできた太陽光発電事業ですが、日が照っていれば、発電する。そのうえ、発電分を自動で買い上げていただけるなど、コロナに影響されることなく安定した売り上げがあり、順調に借入金を返済しております。遊休土地の利用としては、まあやってよかったなと考えておりますが、10年後の買取期間終了後について、パネルの処分なども含めてまた、考慮しなくてはいけないかなと考えております。

では、次に趣味というか興味があったことについてお話させていただきます。私は小学生時代に将棋、学生時代にシュミレーションゲームなどを趣味としており、ちょっと考える形のゲームが好きでした。社会人になってパチンコ、パチスロなども打つようになりましたが、当初はただ、たまに当たって勝つのがうれしくて、トータルで負けていました。ただ、勝てるにはどうすればいいのかを考えるのが好きなのか、ホルコン攻略など怪しい攻略法などもあたりましたが、結局ボーダーとか期待値とか数学的な裏付けがないと勝てないとの結論に至りました。パチンコについては、1000円で20回転するかどうかというボーダーが大事で、パチスロでは高設定または、はまった台の天井狙いで勝てるという期待値(確率)が高い台を狙うというシンプルな戦略です。そこからは、トータルでの負けない戦いができるようになりました。ただ、パチスロも規格が変わり、パチンコもボーダーを上回る台もなくなったこともあり、次第と足が遠のき現在はまったくパチンコ、パチスロも打っていません。勝てないならやめるというシンプルな戦略が大事だと学びました。ただ、状況は最近ユーチューブなどで注視しており、機会があればまた打ってみたいと考えております。

次に旅行でカジノに年1回ほど連れていただくことがありました。そこでブラックジャックという、親とカードをめくりあって21に近いほうが勝ちというゲームにはまりました。最初はやみくもに遊んでいて、なにか別の世界にいるようで、ただそこにいるだけで楽しいと感じていました。通常期待値的にはブラックジャックは勝てるゲームではなく、つまり一時的に勝っても、トータルで負ける

ゲームです。当然ですねカジノはパチンコと同じ慈善事業ではないのですから。ただ、ゲーム好きなのででしょうか勝てる方法はないかと探してみました。結果、負けを最小にするために、数学的に検証された最適な戦術（BSベーシックストラジック）というのが、ありそれを覚えたのち、Aと10以上のカードと2から6までのカードがいくつでたかを数えて、有利な時に大きく掛けるというやりかた（カウンティング）を覚えてからは、負けない戦い方ができるようになりました。カジノにはコンプという制度があり、ある程度をかける人には、交通費、宿泊を補助する制度があり、その分がプラスになるという感じでだらだらと遊んでいました。ただカジノもよく見ていたのでしょうか、カウンティングしていたことがばれたようで、出禁ではないのですがブラックジャックは遊ばせんととの通告をある日受けました。別のカジノはカタツムリという装置が導入され、そもそもカウンティングが無効になりました。まあ勝てなくなったのと、あわせて母の看病などもあり、8年ほど前にカジノへいくことはなくなりました。その後コロナ前に何度かカジノへの旅行へ行ったのですが、カジノより観光優先とかカジノの雰囲気だけを楽しんで、負けてもいい分だけをポチポチ遊ぶということができたので、まあはまりということからは卒業というかできているのかなと思います。一応航空会社の上級会員になれるほどのポイントをためることができたのがひとつの名残です。現在はとくにギャンブル系の趣味は仲間内の麻雀くらいで、スマホのゲームに月500円ほど課金して遊んでいます。高山中央ロータリークラブ様には2月の節分例会より参加させていただいており、皆様に暖かくむかえいれていただいたことに感謝いたします。まだ、入会間もないばかりですが、美味しい昼食をゆっくり会話しながら、いただくという例会のスタイルや、市長をはじめとして、いろいろな方のスピーチを聞けることは大きな学びとなっております。あらためて、入会をお認めいただきありがとうございます。まだまだロータリーアンとしても人としても未熟な私ですが、皆様のご指導下鞭撻をお願いして、自己紹介とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

<ニコニコ BOX>

寒暖の差が激しく体調を崩しやすい日々が続きます。身体に気づかきましょう。

足立 常孝

土曜日19時30分ころ名古屋から車で帰省中、雪がものすごい勢いで降ってきました。

ノーマルタイヤに代えていたのでヒヤヒヤしましたが、無事に高山に帰れましたのでニコニコへ。

高木 純

土曜日の悪天候の中、仕事の関係で新穂高に行って来ました。せっくなので露天風呂に入りました。最初は私一人でのびのびと入っていましたが、その後5人の競泳パンツをはいた外人さんに取り囲まれ当然ノーパンの私は微妙な感じで湯あたりをしてしまいました。国際親善にニコニコを！

大保木 正博

家内の誕生日にステキな花を頂きました。喜んでおりました。ありがとうございました。

西倉 良介

結婚記念日祝いと妻への誕生日プレゼントありがとうございました。

三枝 祥一

今月は結婚記念日をはじめ、3人の子供のそれぞれの入学式がありました。めでたい事が続きましたので感謝を込めてニコニコへ。

下田 徳彦

4/7 誕生日プレゼントありがとうございました。孫たちもスマホでメッセージを送ってくれたので少しビックリ！

嬉しかったのでニコニコへ。

松之木 映一

昨日は第203回はぐるま会ゴルフコンペに多数のご参加を頂きましてありがとうございました。

今井 哲也

昨日のはぐるま会ゴルフコンペで準優勝しましたのでニコニコへ。

内田 茂

昨日のはぐるま会ゴルフコンペで優勝しました。はぐるま会会長になってから、自分が有利になるルールを変えましたが苦節10年、ようやくの優勝でした。

島 良明